

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月1日

上場会社名 ラサ商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員経営企画室長兼本社ビル企画推進室長 (氏名) 大岡 隆

TEL 03-3668-8231

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,271	△36.1	525	△44.3	541	△41.0	305	△32.6
21年3月期第3四半期	25,472	—	942	—	917	—	452	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	24.71	21.03
21年3月期第3四半期	36.60	33.12

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	14,514	7,550	52.0	622.75
21年3月期	15,034	7,446	49.5	601.77

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,550百万円 21年3月期 7,446百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	4.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△27.5	700	△55.2	700	△55.0	390	△47.0	31.57

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 12,400,000株 21年3月期 12,400,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 275,526株 21年3月期 25,526株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 12,346,696株 21年3月期第3四半期 12,374,524株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成21年10月23日付で、平成22年3月期第2四半期累計期間および通期の業績予想につきまして「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の我が国経済は、世界経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に設備投資が下げ止まりの傾向にあり景気の持ち直しがみられるものの、雇用情勢の一層の悪化、海外景気の下振れ懸念に加えデフレ経済の影響もあり、国内民間需要の自律性に乏しく依然として厳しい状況で推移しました。

このような経済環境のもとで当社は、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上に努めましたが、売上高は162億71百万円となり、前年同期に比べ92億1百万円（△36.1%）の減収となりました。

資源・金属素材関連では、製鋼原料の取扱い高は前年同期に比べ増加したものの、販売価格がLMEニッケル相場に連動し、前年同期に比べ価格が下落していることから、関連部門の売上高は100億5百万円となり、前年同期に比べ66億92百万円（△40.1%）の減収となりました。

産機・建機関連では、国内設備投資の急激な落ち込みにより販売が低調に推移したことから、関連部門の売上高は51億17百万円となり、前年同期に比べ21億70百万円（△29.8%）の減収となりました。

環境設備関連では、設備投資の低迷により水砕スラグ製造設備関連商品が全般的に影響を受けたことから、関連部門の売上高は11億44百万円となり、前年同期に比べ3億38百万円（△22.8%）の減収となりました。

損益面では、売上総利益が26億75百万円となり、前年同期に比べ6億2百万円（△18.4%）減益、営業利益では5億25百万円となり、前年同期に比べ4億16百万円（△44.3%）減益、経常利益では5億41百万円となり、前年同期に比べ3億75百万円（△41.0%）減益、四半期純利益は3億5百万円となり、前年同期に比べ1億47百万円（△32.6%）減益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、145億14百万円となり、前事業年度末に比べ5億20百万円減少しました。

資産では、現金及び預金で7億39百万円の増加等がありましたが、受取手形及び売掛金で21億18百万円、商品及び製品で6億18百万円の流動資産の減少等によるものです。

負債では、社債で7億80百万円、長期借入金で1億8百万円の固定負債の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金で4億65百万円、未払法人税等で2億47百万円の流動負債の減少等、転換社債型新株予約権付社債で6億50百万円の固定負債の減少等によるものです。

純資産では、主に剰余金の減少として配当金の支払額1億42百万円がありましたが、評価差額金等で17百万円、利益剰余金で1億62百万円の増加によるものです。

【キャッシュ・フローの状況】

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は38億6百万円となり、前事業年度末に比べ7億39百万円増加しました。要因としては、営業活動によるキャッシュ・フローで22億57百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで15億92百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで72百万円の増加によるものです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により発生した資金の増加は、22億57百万円となりました。要因としては、仕入債務で4億32百万円、法人税等の支払で4億99百万円による資金の減少等がありましたが、税引前四半期純利益5億57百万円、売上債権で21億39百万円、たな卸資産で6億37百万円の資金の増加等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により発生した資金の減少は、15億92百万円となりました。要因としては、有形固定資産の取得による支出14億44百万円、投資有価証券の取得による支出1億1百万円、その他支出55百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により発生した資金の増加は、72百万円となりました。要因としては、長期借入金の返済2億28百万円、社債の買入消却による支出6億30百万円、配当金の支払1億42百万円の資金の減少等がありましたが、長期借入れによる収入3億円、社債の発行による収入9億円の資金の増加等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成21年10月23日付「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしております。

しかしながら、当社が資源・金属素材関連において取扱う製鋼原料のフェロニッケルは、LMEニッケル相場の影響を受けるため、国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

（単位：百万円）

	当第3四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年3月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,806	3,067
受取手形及び売掛金	5,124	7,242
商品及び製品	1,390	2,008
仕掛品	8	32
その他	238	266
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	10,562	12,614
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	67	88
土地	575	575
建設仮勘定	1,442	—
その他（純額）	257	277
有形固定資産合計	2,342	941
無形固定資産		
のれん	26	37
その他	60	70
無形固定資産合計	86	108
投資その他の資産		
投資有価証券	607	494
その他	953	905
貸倒引当金	△38	△29
投資その他の資産合計	1,522	1,369
固定資産合計	3,951	2,419
資産合計	14,514	15,034

（単位：百万円）

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,159	3,625
短期借入金	250	287
1年内償還予定の社債	170	100
賞与引当金	81	212
その他	471	722
流動負債合計	4,132	4,947
固定負債		
社債	1,140	360
転換社債型新株予約権付社債	850	1,500
長期借入金	227	118
退職給付引当金	570	604
その他	42	57
固定負債合計	2,830	2,640
負債合計	6,963	7,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,612	1,612
利益剰余金	4,196	4,033
自己株式	△84	△8
株主資本合計	7,577	7,490
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37	△46
繰延ヘッジ損益	10	2
評価・換算差額等合計	△26	△44
純資産合計	7,550	7,446
負債純資産合計	14,514	15,034

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,472	16,271
売上原価	22,194	13,596
売上総利益	3,277	2,675
販売費及び一般管理費	2,335	2,149
営業利益	942	525
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	16	10
受取家賃	19	39
その他	4	5
営業外収益合計	43	58
営業外費用		
支払利息	9	4
社債利息	3	7
為替差損	38	4
社債発行費	14	22
その他	1	3
営業外費用合計	68	42
経常利益	917	541
特別利益		
固定資産売却益	0	1
社債買入消却益	—	19
その他	—	0
特別利益合計	0	20
特別損失		
商品評価損	11	4
商品廃棄損	2	—
投資有価証券評価損	99	—
固定資産処分損	4	—
その他	0	0
特別損失合計	118	4
税引前四半期純利益	798	557
法人税等	345	252
四半期純利益	452	305

【第3四半期会計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期会計期間 （自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期会計期間 （自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）
売上高	6,518	5,778
売上原価	5,246	4,780
売上総利益	1,272	998
販売費及び一般管理費	785	713
営業利益	486	284
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	1
受取家賃	6	23
その他	1	1
営業外収益合計	12	27
営業外費用		
支払利息	2	2
社債利息	0	4
為替差損	35	0
その他	0	0
営業外費用合計	39	7
経常利益	458	304
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
商品評価損	3	1
投資有価証券評価損	51	—
その他	3	—
特別損失合計	59	1
税引前四半期純利益	399	302
法人税等	167	130
四半期純利益	231	171

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	798	557
減価償却費	58	52
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額（△は減少）	17	10
賞与引当金の増減額（△は減少）	△95	△130
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△22	△33
受取利息及び受取配当金	△19	△14
支払利息	9	4
社債利息	3	7
商品廃棄損	2	—
商品評価損	11	4
社債買入消却損益（△は益）	—	△19
有形固定資産除売却損益（△は益）	0	△1
投資有価証券評価損益（△は益）	99	—
売上債権の増減額（△は増加）	△504	2,139
たな卸資産の増減額（△は増加）	△235	637
仕入債務の増減額（△は減少）	△364	△432
その他	207	△39
小計	△20	2,755
利息及び配当金の受取額	18	13
利息の支払額	△12	△13
法人税等の支払額	△646	△499
営業活動によるキャッシュ・フロー	△660	2,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6	△1,444
有形固定資産の売却による収入	3	3
無形固定資産の取得による支出	△52	—
投資有価証券の取得による支出	△4	△101
投資有価証券の売却による収入	—	3
貸付金の回収による収入	4	2
その他	△162	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217	△1,592

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100	—
短期借入金の返済による支出	△1,300	—
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△249	△228
社債の発行による収入	—	900
社債の償還による支出	△320	△50
新株予約権付社債の発行による収入	1,500	—
社債の買入消却による支出	—	△630
自己株式の取得による支出	—	△76
配当金の支払額	△191	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	538	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△353	739
現金及び現金同等物の期首残高	2,153	3,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,799	3,806

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 生産、受注及び販売の状況

①受注状況

当第3四半期累計期間における受注状況を事業部門別に示しますと、次のとおりです。

事業部門別	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
資源・金属素材関連	10,163	△40.6	321	△63.0
産機・建機関連	6,326	△19.8	2,190	△13.6
環境設備関連	897	△18.6	546	△71.4
その他	3	△13.2	—	—
合計	17,391	△33.4	3,057	△42.4

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示しますと、次のとおりです。

事業部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)	(参考) 平成21年3月期
資源・金属素材関連	10,005	△40.1	18,786
産機・建機関連	5,117	△29.8	10,191
環境設備関連	1,144	△22.8	2,731
その他	3	△13.2	8
合計	16,271	△36.1	31,716

(注)1. 主な相手先別の販売実績に対する割合は、次のとおりです。

相手先	前第3四半期累計期間 (平成21年3月期第3四半期)		当第3四半期累計期間 (平成22年3月期第3四半期)		(参考) 平成21年3月期	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
三菱商事株式会社	10,932	42.9	6,251	38.4	12,180	38.4

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③商品仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を事業部門別に示しますと、次のとおりです。

事業部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)	(参考) 平成21年3月期
資源・金属素材関連	8,949	△44.0	18,133
産機・建機関連	3,393	△35.1	6,946
環境設備関連	611	△49.4	1,745
合計	12,954	△42.2	26,825

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。